

防災知識を繰り返し確認しておきましょう！！

回答は、参考例です。詳細は最寄りの行政窓口にお問合せ下さい。

< 防災クイズ（風水害編） > 20230827 道塚自治会

1. 避難するタイミングは、どの世代の人も同じである。○×？

回答：× お年寄りや子供のいる家庭はより早めに避難することが大切です。

2. 大雨や台風接近時には、川や用水路を直接見に行き、様子を確認する方が良い。○×？

回答：× 河川は増水していることもあるので直接見に行くことは危険です。河川の様子は自治体などで公開されていることがあるので、それらの情報から把握するようにしましょう。

3. ハザードマップの確認は、災害にあった時に初めて確認すれば問題ない。○×？

回答：× さまざまな自然災害に対し、我が家にはどのような脅威があるのかをハザードマップ等で事前に調べて置く必要があります。

4. 河川洪水・氾濫は、雨が長く続いている時や、強い雨の時間が長い時には特に注意が必要である。○×？

回答：○ 住んでいる地域で雨が長く続いている時や、強い雨の時間が長い時は特に注意が必要です。

5. 消火器で消火を行うときは、風上から消火する。○×？

回答：○ 風上から消火すれば煙を吸う危険も少なくなり視界も比較的良好です。

6. AED は人工呼吸をする機械であり、医師や救急隊員しか使用できない。○×？

回答：× AED は、心臓が停止した時に電気ショックを与え、心臓を再開させる機械で、一般の方でも使用可能です。使用方法についての講習を受けましょう。

7. 内水氾濫（洪水に対し、堤防の内側、すなわち市街地内を流れる側溝や排水路、下水道などから水が溢れる水害）は、1時間に80mm以上の雨が降った場合にのみ発生する可能性がある。○×？

回答：× 1時間に50mm以上の雨が降ると内水氾濫の発生する可能性があります。

8. 雪で立ち往生した場合は、車のエンジンを切るのが良い。○×？

回答：○ エンジンをつけっぱなしにすると、排気ガスが車内に流れ込むことにより、一酸化炭素中毒になる危険があります。原則としてエンジンは切りましょう。

防災知識を繰返し確認しておきましょう！！

回答は、参考例です。詳細は最寄りの行政窓口にお問合せ下さい。

9. 「津波避難場所」マークも「津波避難ビル」マークもどちらも実在するものである。

○×？

回答：○ どちらのマークも実在します。はじめて訪れた観光地など地理に詳しくない土地でも「津波避難場所」マークや「津波避難ビル」マークを目印にただちに避難してください。



10. 避難場所と避難所の違いとしては、避難場所が一定の期間滞在する施設であり、避難所が一時的に非難する場所である。○×？

回答：× 避難場所：災害が発生または、発生する恐れがある場合にその危険から身を守るため一時的に非難する場所です。

避難所：災害により家に戻れなくなった方が一定の期間滞在するための施設です。

11. 指定河川洪水予報は、「はん濫注意情報」「はん濫警戒情報」「はん濫危険情報」「はん濫発生情報」の4つがある。○×？

回答：○ 指定河川洪水予報はこれらの4つです。あらかじめ指定された大きな河川を対象に、気象庁と国土交通省または都道府県が共同で「指定河川洪水予報」を出しています。雨が降り続けている時は、指定河川洪水予報も参考にするようにしましょう。

12. 内水氾濫は河川氾濫と比較すると、浸水深が深い傾向がある。○×？

回答：× 内水氾濫は、河川氾濫と比較すると浸水深は浅いので、無理に屋外へ避難するよりも頑丈な建物の2階以上へ移動した方が安全な場合が多いです。

13. 火山灰は噴火によって噴出した直径5mm以下の固形物であり、時には数100km以上も運ばれることがある。○×？

回答：× 火山灰は噴火によって噴出した直径2mm以下の小さな固形物です。

14. 天気予報では、風の強さを「やや強い風」「強い風」「非常に強い風」「猛烈な風」のように表現しています。○×？

防災知識を繰り返し確認しておきましょう！！

回答は、参考例です。詳細は最寄りの行政窓口にお問合せ下さい。

回答：○ 風の強さにより、様々な影響が出る可能性があるため、風が強くなりそうな日は気象情報を確認し、風の強さによっては外出を控えましょう。台風
の接近・通過時には、活発な積乱雲により竜巻などの強烈な突風が発生し
やすくなるので特に注意しましょう。

15. 竜巻の時は室内の窓の側にいて外の様子を注意して観察する。○×？

回答：× 大きな窓の下や周囲は危険。カーテンは閉め、窓から離れる。窓のない部
屋（トイレ等）に避難。屋外では、電柱や太い樹木であっても倒れること
があるので危険。頑丈な建造物の物陰に入って身を小さくする。

16. 強風・暴風前の自宅の備えは雨戸だけしっかり閉めて置けば良い。○×？

回答：× 物干し竿や植木鉢の片づけ、雨戸のない窓に飛散止めフィルムを貼る、カ
ーテンを閉める。風で飛ばされるものを前もって片付けましょう。

17. 強風域とは平均風速が20m以上の風が吹いているか吹く可能性がある範囲のこと
○×？

回答：× 強風域：平均風速15m以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲。
暴風域：平均風速25m以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲。

18. 大雨が降り続くと大雨警報が発表される。○×？

回答：○ 大雨注意報：災害が起こるおそれ、大雨警報（土砂災害）：重大な災害が
起こるおそれ、土砂災害警戒情報：土砂災害の発生危険度が高まる、大雨
特別警報（土砂災害）：土砂災害が同時多発的に発生するおそれが高まる。

19. 119番通報は近くの消防署につながる。○×？

回答：× 119番は消防局や消防本部にある指令管制室につながります。

20. 台風が近づいて雨風が強まることで、起きるかもしれない被害とは？

①津波が発生する。②崖崩れや地滑り、土石流が発生する。③道路がひび割れする。

回答：② 雨がたくさん降り、地面がやわらかくなると、土砂災害が発生しやすくな
るため注意が必要です。

21. 普段からできる、台風対策としてどれが正しいですか？

①側溝や排水溝の掃除をして水回りをよくする。②外出や旅行を控える。③台風
に備えて、家財道具を高いところにうつす。

回答：① 日頃から大雨に備えて自宅の周囲を点検しておきましょう。家財道具を

防災知識を繰り返し確認しておきましょう！！

回答は、参考例です。詳細は最寄りの行政窓口にお問合せ下さい。

高いところにうつすのは、落下して怪我をする危険性もあるため、台風が
迫り浸水危険がある場合にしましょう。

22. 台風による大雨で発生しやすくなる土砂災害のうち「地すべり」の説明として正しいのはどれ？ ①斜面の地面が大きな固まりのまま、ずるずると下に移動すること。
②台風による高波で、海岸の砂浜が削られること。③強風で木が倒され、斜面を転がり落ちること。

回答：① 地すべりは土地が地下水の影響を受けて、ずるずると下方に移動する現象です。比較的なだらかな斜面で発生しやすい特徴があります。土砂災害には、地すべり以外にも、土石流・崖崩れなどがあり、台風などの大雨で発生しやすくなります。

23. 大雨で膝の位置まで浸水している場合、道路での移動の避難の仕方として正しいのはどれ？ ①長靴をはく。②大雨で濡れないよう車で移動する。③棒などを持って、運動靴で避難する。

回答：③ 大雨で道路が浸水している場合、水面下は非常に見えづらくなります。また、夜の場合などには足元は全く見えません。側溝やマンホールに落ちないように、長い棒で安全を確認しながら歩きましょう。

24. 台風が接近し、雨や風が強くなった時の行動として正しくないものはどれ？

①駅などの地下で台風が過ぎるのを待つ。②家で雨戸を閉める。③外出を控える。

回答：① 雨が降り続くと、駅などの地下は浸水する恐れがあります。都市部では地下街や地下鉄の駅や地下室や地下のガレージなどに水が流れ込んでくる可能性があります。

25. 日本の台風は、どの方向に渦を巻いている？

①時計回りと反時計回りと時間によって変化する。②反時計回り。③時計回り。

回答：② 北半球にある日本では、台風は巨大な渦巻きが反時計回りに風の渦を巻きます。台風の進行方向に向かって右側はより風が強くなるので、被害が大きくなる可能性があります。

<日本気象協会サイトを参考に一部加筆修正しました>